

『外国語と日本語との対照言語学的研究』

第30回 研究会

2020年9月12日(土) 14:00～17:50

ZOOM ミーティング <<一般公開、お申し込み必要>>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ PROGRAM ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

14:00～15:00

発表：山田洋平氏（東京外国語大学：モンゴル語、言語学）

モンゴル語族の動詞否定形式

15:10～16:10

発表：幸松英恵氏（東京外国語大学：日本語学、日本語文法論）

近世後期江戸語のノダ

一現代語との対照に基づく古典語文法研究の試み一

16:20～17:50

講演：早津恵美子氏（名古屋外国語大学：言語学、日本語学）

文の要素・連語の要素としての使役動詞「V-(サ)セル」

動詞に使役接辞のついた「V-(サ)セル（運ばせる）」は、発話の際にそのつど作られる生産的な形であり基本的にはレキシコンの要素ではない。しかしながら、「選手を強制的に歩かせる」「たしかに彼に運ばせた」、あるいは「姿をくらませる」「犯人を泳がせる」等においては、既成性には段階があるものの、V-(サ)セルが一単位的に文あるいは連語の要素として機能しているとみるのがよさそうである。このような現象について具体例をもとに考察する。

☆☆

◆ 事前申し込み方法 ◆

以下のリンク先またはQRコードより事前お申し込みをお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfJdQialyrmZ03GRkqmO2yXM77o2niSF0M4mHy-TglgRW4BVA/viewform?usp=sf_link 締め切り：9月11日10時まで。事前お申し込みをされた方に限り、講演会の前日（9月11日）、ZOOMリンクと案内文を送信する予定です。



対照日本語部門 谷口龍子 秋廣尚恵 大谷直輝 成田節 降幡正志 峰岸真琴 三宅登之

お問い合わせ tel:042-330-5794 mail:info-icjs@tufs.ac.jp